



前中Community School

めざせ！ボランティア参加 1000人

～地域とともにある前原中学校を目指して～

オリジナル企画 ボランティア「通学路のゴミ拾い・挨拶運動」

以前このCS通信でも紹介したように、今年度の前中コミュニティスクールでは、新たに「地域貢献活動の企画・立案・運営！」という目標を掲げ、全校生徒にオリジナルボランティアの企画書を配付して、広くアイデアを募集しました。その中で生徒会から「前中生の通学路のごみ拾いとあいさつ運動」というボランティア企画の応募があり、6月19日(水)から1週間、生徒会役員とともに、有志として参加してくれた3年男子生徒を合わせた計12名で、前中の通学路のゴミを拾いながら挨拶をして回りました。今回はその活動の様子をお伝えします。



今回の活動では、毎朝7時50分に本校玄関前に集合、軍手・トング・ゴミ袋を準備して、前中生が普段登校している通学路のゴミを拾うとともに、すれ違う人たちへあいさつをしながら歩き、約30分後の8時20分に前中に戻ってくるという行程で実施しました。日ごとに、雷山方面や南風方面と行先を変えて、可能な限りのゴミを回収して来ました。特に多かったのがたばこの吸い殻や空き缶です。1週間の間にたばこの吸い殻を拾わない日はありませんでした。歩きたばこをしながら吸い殻をポイ捨てしている大人がそれだけ多いことがわかります。大人のマナーについて改めて考えさせられました。また、道路だけでなく、公園や空き地、駐車場などにもたくさんのゴミが落ちていました。ここで多かったのが空き缶やペットボトルです。中にはたばこの吸い殻がたくさん詰まったものもありました。最終日となる6月26日(水)に、1週間で集まったゴミをまとめて写真に収めました。たった1週間でこれだけのゴミが集まったことに、参加した生徒たちは、達成感と同時に、ゴミ問題や環境問題について考えるきっかけにもなったはずです。

また、生徒たちの元気なあいさつに、積極的にあいさつを返してくれる人たちがたくさんいて、朝から心が晴れやかになりました。最初は、参加した生徒たちも少し緊張しながらの活動でしたが、回を重ねるごとに、通勤や通学途中の人、地域住民の方々から「おつかれさま!」、「ありがとう!」と声をかけてもらえるようになりました。自分たちの活動が、地域の人たちから認められたという実感が持てた瞬間だったと思います。これからは「前中通学路クリーンアップ作戦」と名付け、定期的の実施していく予定です。次回は7月10日(水)～17日(水)までを予定しています。前中ボランティアコーナーに申し込み方法を掲示しておくので、積極的に参加して、地域に貢献していきましょう。



前原南小の学校運営協議会より、ボランティアの募集がきています。秋の掲示板作成ボランティアです。前回多数の参加があったことで、新たに企画していただきました。詳しい内容は前中ボランティアコーナーに掲示しています。参加を希望する生徒は、申込用紙に必要事項を記入の上、CS担当の齋藤まで提出してください。